

The Red Ear Paper!

The Red Ear Paper! とは.....
赤穂の赤=red (赤い&熱い!)
穂=ear (穂&耳).....ということで赤穂のホットな耳より情報を
皆様にお伝えしたいというコンセプトで制作されたフリーペーパーです!

2016
vol.1 S

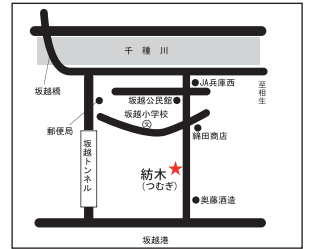
赤穂観光四季報

—瀬戸内海と山に囲まれ豊かな自然に恵まれた播州赤穂—
ゆったり、のんびり過ごしに赤穂に遊びに来ませんか？

古家具～作家物の店

「紡木(つむぎ)」

〒678-0172
赤穂市坂越2061 Tel.090-1240-7461
昼11時～18時
駐車場 有
営業日 土・日・月曜日



坂越の主軸である大道(千種川と坂越浦とをつなぐ道)沿いの古民家を改装し、平成28年7月16日に「暖木」の姉妹店としてopenした「紡木」。古道具や古家具のほか、手仕事によるCraft&Art作家の作品にもスポットを当て販売している。

店名の「紡」には、糸を紡ぐ、人とのご縁を紡ぐなど、糸で繋がるご縁を大切にしていきたいという店主の願いが込められている。

窓枠や床材には古材を利用し、店の雰囲気は見る人の感性で和風にも洋風にも見える面白さがあるそうだ。

展示物の一部には「毎度ありがたう」の文字が。昔にタイムスリップした様に、人のぬくもりと落ち着きを覚えた一時だった。



ほっこり坂越 レトロさんぽ



穏やかな海と歴史のまち、坂越。のんびり、ゆったり散歩すれば静かな佇まいの中に、あたたかい人のぬくもりを感じることができます。



JR 坂越駅から坂越まで徒歩約 20 分。他の駅までさらに 20 分です

- ①千厩川高瀬舟の昔遊び
江戸時代、道田から運ばれた炭がここで大川船に積みかえられ坂越港に運ばれた。
- ②木戸門跡
黒船襲来で築いていた頃、町を守るため砲臺跡、夕べには閉じる門番がいた。
- ③坂越まちぢみ館
大正末頃に農産物販路として開設され、その後いろいろな銀行として使用された。当時の名物の大倉庫が残っている。
- ④高瀬酒造
慶長 6 年創業の、兵庫家で二番目に古い酒蔵。「田舎蔵」や「乙女」といった美酒が造られている。一帯に歴史資料館があり、酒造りの道具や樽を鑑賞する人で上方まで運んだ船の復元模型などを展示。
- ⑤日坂越焼肉所
赤松屋の支店でありながら茶屋の趣があった。湯釜専用の和服、朝顔袴からは湯にうかぶ生菓子が楽しめる。



古道具のカフェ 盛木
0791-25-4622
古い町家には、本格的な料理や、面白いものなどがいっぱい。カフェでは、地元の特産物や米を採ったヘルシーなランチやケーキが人気。



坂越のまちなみ

石だたみの大道は、車通りも少なく、白壁と漆喰の町家が並び、落ちついたまちなみ。路地を覗いたり、水路のせせらぎを聞きながらゆっくり散歩して下さいね。



森の菓子屋
0791-48-7122



SALITA
「きくらぐら」プロデュースの新鮮スイーツ店
0791-48-8858



酒火場
0791-48-8788
兵少屋敷の古方でとれたての魚介を炭火で焼いて、食べられます。エイゴのお好み焼きもあり。



坂越まちぢみ館



大宮神社



日坂越温泉宿



坂越川



- ⑥大宮神社
644 年、鎌倉入道から運ばれた皇御湯が神とされている。ここには「12」という数字が階段にも井戸にも初穂料にもからんでいる。ミステリーファンならずとも興味がそそるパワースポットだ。境内にある「ひよんの美」の由来もミステリアス。
- ⑦新緑の温泉
お湯の源泉は 4 枚の三日月が組み合わさっていて、ピラミッドと月の形を宿っているのが、新緑の湯の通りだが温泉が飛び交うパワースポット。また新緑の湯に暮らした十二女の恋劇でしに温泉を堪能することができる。
- ⑧新緑湯
毎年 10 月 2 日曜に新緑内三大祭りである「新緑の湯まつり」が開催される。
- ⑨土倉
東照宮の裏だといわれており、国の天然記念物でもある原地形がうろっこうと残っている。この島のおかげで、古来より坂越は瀬戸内航路の中継点としてだけでなく、風船の港としても栄えていた。
- ⑩海の家
旅館の社員や後継者・加工品の販売所。「くいどうらく」では漬物が中心の食べ放題がある。一年を通して瀬戸内の新鮮な魚介が楽しめる。

海の新鮮な魚介がおいしい「くいどうらく」(海の家の温泉旅館)

新鮮な魚介やお土産にぴったりの海の幸がいっぱい。シーズンには仕立の道場もあつちます。0791-48-8800

